

守銭奴たち

人工の織りなす五色の色は、あまりにも極彩色で目が疲れる。

人工的な五色の声は、あまりにもうるさすぎて聞き取れない。

酸味、苦み、甘み、辛み、潮味の五味をいっぺんに採ると、舌は麻痺して味が分からなくなる。あまり欲張って何でもいっ

ぺんにやるから、なにがなんだか分からなくなるんだ。

人の心だつて同じだよ。

ギャンブルが遊びのうちはいいが、

とりこになったら、身の破滅さ。

金儲けだつて、あまりあこぎなやり方だと、守銭奴といつてお金の奴隷になるのだ。

「道」の働きが分かっている人は、見た目の欲ばかりに踊らされずに、心で感じたものを大切にするんだ。頭で感じるより、心で感じる。

バカの真実

私は自転車（操業中）が好き、風と一体となり、緑に煙る霧が、自然が好きです。森はブナ、花は陵線に香るササユリ、山は厳冬の領域が好き。向かい風、長い登り坂、寒さ、暑さ、辛さ、逃げ帰らず、峠を指し立ち向かうは人生そのもの。人がバカだという領域に、真理がある。

実際に行動し体験しないとそれは絶対に分からないものである。いい年をしてバカをやれない、自分がバカである事実を知らない、お利口さんが多い。

良いことをしよう。宇宙の法則は、世の中の進歩発展に役立つことが良いことなのです。良いことは、金銭ではない。かけがえのない報酬が、心にもたらされるものです。利他の言葉もある・・・。

オヤジ達、仕事に懲じろう

また自分がバカであることを謙虚に、公言できない人は本当のバカである。年をとってから、どうしても苦労は少なくなっていく。したがって若い時は当然、じゃなくて、年寄りほど苦労を買ってでもしなさいと、某ジイが言っていた。

今があるのはすべて出会った人、出会ったこと、前に一歩出ること、今の私を作った。その人物の行動を視、その動機を観、その要求を察すれば、誰でもろうと本性が自然と分かるもの。失敗や過失を、取り繕うとする小人は、罪人と変わらない。



(有) 西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年7月19日（火）NO. 211

地域から明るい未来を作ろう

お盆休みは・8月15日～16日

「道」の働きが分かっている人は、見た目の欲ばかりに踊らされずに、心で感じたものを大切にするんだ。頭で感じるより、心で感じる。



進まざる者は必ず退き退かざる者は必ず進む

これは福沢諭吉の「学問のすめ」の一節です。前へ、一歩前へ、時代は変わる。現代は維新にも匹敵する状況に変わらない。徳より金の日本人に変わりを果たた。「道」の気概と使命は、人類に対する使命でもある。いいものはいつまでも残り、発展する。

私が好き嫌いが有りません。何でも食べ、自分で判断します。

失敗や過失を、取り繕うとする小人は、罪人と変わらない。